

会議の概要

令和4年度 第6回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和4年11月25日（金）16:30～18:00

場 所：大玉中学校 体育館

（進行：大玉中教頭 星 雅人）

1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さん、こんにちは。午後から長時間に渡りありがとうございます。また、生徒会の皆さんも参加ということで、本日はありがとうございます。これより令和4年度大玉中学校学校運営協議会並びに第6回おおたま学園コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を行います。よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

改めまして、こんにちは。本日は大玉中学校の先生方には授業提供、そのための準備等本当にありがとうございました。お陰さまで、子どもたちの姿や真剣に学ぶ姿を参観することができて嬉しく思いました。

さて、本日の学校運営協議会は基本的には大玉中学校に特化した形の協議会ということになるわけですが、大玉村では幼・小・中一貫的教育ということで進んでおりますので、この後3つのテーマについて話し合いを行います。これは小学校にも当てはまる内容ではないかと思います。また、先程開会の言葉にもありましたが、中学生の皆さんも参加していただくことになりました。本来であれば中心にすべき子どもたちがどういうふうにいるのか、どんなふうに願っているのか、それらを様々な場面で聞き取り、感じ取り、それをもとにして方向性を決めていかなくてはならないと思います。今回このような機会をつくることができましたが、これからもこのような取り組みを広げていき、いろんな意見を取り込みながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。

また、今回も前回の玉井幼小に引き続き教育委員の皆さまにもご参加いただきますので、よろしくお願いいたします。

では、3つのテーマに関して実りある話し合いがなされることをお願いしてあいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。



2 おおたま学園CS委員会会長あいさつ （おおたま学園CS委員会会長 伊藤和弥）

皆さん、こんにちは。私は、CS会長ということになっているのですが、地域住民として参加させていただきます。今日は、中学校の生徒の皆さんも参加するということですごく楽しみです。皆さんと熟議できることを楽しみにしていますので、活発に意見を出しながら、改善点等あれば出していただきたいと思います。

今日の時間配分もいつも通りなのですが、熟議が始まるとあっという間に時間が経ってしまいます。楽しく有意義に過ごしていただきたいと思います。本日もよろしくお願いします。



4 大玉中学校教職員自己紹介

本日参加した大玉中の教職員が自己紹介を行う。

5 協議

（1）令和4年度の学校運営について （大玉中学校長 安田 浩明）

今年度の大玉中のキーワードは3つあります。三本の矢と称しまして、1つ目が「大玉プライド」（生徒も教師も誇りをもてる学校）、2つ目が「地域貢献」（保護者や地域から応援され、共に歩む学校）、3つ目が「虹のような学校組織」（学び続ける教職員がいる学校）です。

① 「大玉プライド」（生徒も教師も誇りをもてる学校）

積極的に生徒のよさを認め、そして大玉中生としての誇りと自信をもたせたいと思っています。学校だよりや学年だよりを通して生徒の活躍を紹介したり、全校集会において賞賛したりしています。また、校務支援システムを活用して子どもたちを多面的に捉えたり、Q Uを活用して互いを認め合う学級づくりに努めたりしています。



また、今日は、本校の9名の子どもたちに参加してもらって一緒にこれからのことを考えていこうという場を設けました。このような機会を通して、子どもたちを育てていきたいと考えています。その一つの表れということですが、全国学力・学習状況調査の結果を見ると、「自分にはよいところがあると思いますか」という自己有用感を問う設問に「そう思う」と回答した生徒の割合が、全国・県と比べて大変高くなっています。県平均の約2倍になっており、多くの子どもたちは自分に自信や誇りをもって学校生活を送っていると言えます。その姿を今後も継続できるようにしていきたいと考えます。

② 「地域貢献」について

地域貢献については、生徒会活動や各学年の総合的な学習の時間を中心に次のような取り組みをしています。（＝豊かな体験活動の推進）

<生徒会活動>

- ・ プランターに花をたくさん植えて、それを施設、役場、改善センターに贈る。
- ・ 村内の一人暮らし高齢者に暑中見舞いの葉書を送る。

<総合的な学習の時間>

- ・ 村民と一緒にクリーンアップ作戦（ゴミ拾い活動）をする。
- ・ 村内に呼びかけてウクライナへの募金をする。
- ・ アルミ缶回収をし、その収益金で今年は保育所に玩具をプレゼントする。

③ 虹のような学校組織

簡単に申し上げますと、先生方がそれぞれの持ち味を発揮しながら、子どもたちを魅了する調和の取れた学校組織でありたいと思っています。そのため、授業研究会や互見授業等を積極的に行い、教員個々の指導力向上に努めています。お陰さまで、この6年間の中教研究物審査において常に安達地区11校中の2



校に選ばれており県の表彰も受けています。まだまだ伸びしろのある先生方が集まっております。今後さらに精進し子どもたちの学力向上に向けて一生懸命に努力していきたいと思っています。

以上の3つを今年のキーワードとして教育の質の向上を目指していきたいと思います。「スケールメリットを生かした学校づくり」ということで、最終的にはこの大玉中学校を“大玉ブランド”に育てていきたいと考えております。以上学校運営についてお話ししました。最後に少しだけ付け加えますが、私の好きな曲を聴いてください。 ～ビートルズ曲が流れる～

余韻を残しつつ終わりたいところですが…。私たち教員は、子どもたちにたっぷりと愛情を注いでいきたいと思っています。ご清聴ありがとうございました。

(2) グループ協議

① グループ協議の進め方について (大玉中教頭)

<議題について>

「将来に夢を抱き、実現に向けてひたむきに努力する生徒」を目指して、『知』『徳』『体』の3つの視点から、生徒や教職員、保護者や地域の方々にそれぞれの立場で“できること”、“行いたいこと”、“お願いしたいこと”等の意見を出し合い、お互い思いの共有と今後の学校教育活動の方向性を探る。

<協議の進め方>

ア ラウンド1 (30分)

- ・ 班の進行役を中心に、各テーマに対して考えを出し合う。
- ・ KJ法でそれぞれの考えを共有し、共通している内容についてさらに考えを深める。

イ ラウンド2 (20分)

- ・ 進行役は残り、他の人は自由に他班に移動する。(同じテーマの班)

- ・進行役は他班の人に話し合いの内容を説明する。

ウ ラウンド3 (5分)

- ・自分班に戻り、他班の内容や考えをもとに班内でさらに考えを深める。

エ 意見の共有(10分)

- ・代表が話し合いの内容を発表し、全体で考えを共有する。

② グループ協議 ～ 略 ～



③ 全体共有（代表のグループの発表） ～各班の代表者による発表～

（進 行）3つの班を指名するので、指名された班はマイクを使い全体に向かってお話しください。

3 班 テーマ1『学力を向上させるには…』

- 中学生が学習する所がほしい。今の3年生が学んでいる未来塾のような所に1, 2年生も入るといのはどうだろうか。
- 大玉村の子どもたちが受験で他市町村の子どもたちと競うようになるので、まわりの人たちのことをもっと知る機会を設けることによって、県と比べたりするチャンスをつくる。実力テストを受ける回数を増やす。
- 村の出身者を招いて、子どもたちが未来の自分の姿を想像できるようなキャリア教育を充実させる。村出身でかつてシリコンバレーに勤めていた方がいらっしゃるそうなので、ICTの最先端の話聞く。子どもたちが自分の進路を考える上で役立つと思われる。
- 家庭で子どもたちが自学できるような習慣づけをする。その時間には保護者も一緒に学ぶようにする。家族みんなで学習等に励む時間をつくる。

- 全く勉強していない子もいる。その子たちに少しでもいいから学ぶ習慣づけをする必要がある。
- 子どもたちが大人になった時に、思う存分自分がやりたい仕事をして満足できるようにさせたい。
(どちらかと言うと、今の子どもは自由な生活ぶりである＜大人にも言えるが…＞)
- ・ 自分の将来のことを考えて、勉学に励んでおくようにしたい。
そして、それが後々楽しさとして自分に返ってくるんだという意識付けも大切である。
- 学校として
 - ・ 子どもたちの学習意欲を高めるために、「要点のはっきりとした授業」、「やらされているのではなくて自ら進んで学ぶ授業」をつくり上げていくことが必要である。これからも私たち教職員は、日々研修に励んでいくようにしたい。



5 班 テーマ2 『大玉プライド（人間性・社会性・郷土愛）を育むには…』

- 地域人材の活用
 - ・ 地域住民を学校の招いて授業に入ってもらったり、いろいろなことを教えていただく。
 - ・ 生徒から「大玉村の職業について分からないのもっと知りたい」という要望が出ている。
(大学進学等で村から出ても、「戻ってきたい」、「帰ってきたい」と思えるような村づくりも必要)
→ 働いている人の話を聞いてみる。
→ 体験学習を継続してやっていく。(ex.野菜や米を育てるところから始める)
- 自主性について
 - ・ ボランティアについて … やらされるのではなく、自分がやってみたいボランティア、自分が誇らしく思えるようなボランティアをやることも大切ではないか。
 - ・ 挑戦していく中で失敗する経験もある。「失敗してもいいんだよ」という環境や雰囲気をつくらせていくようにしたい。
- 知ること
 - ・ ふるさと大玉村についてまだまだ知らないことがある。さらに学んでいくこと、そして他の地域について学ぶことを通して大玉のよさを再認識することも必要である。
 - ・ 親にも大玉についてもっと知ってほしい。
- お願いしたこと
 - ・ 様々なことに取り組む上で、時間や予算が必要になってくる。協力していただきたい。



6 班 テーマ3 『体力を向上させるには（今後の部活動のあり方）…』

- 人材の確保
 - ・ これから週末の部活動を地域の方をお願いするといっても、その種目の担当を誰がするのかをはっきりと把握する必要がある。その上で子どもたちにきちんと橋渡しをしなければならない。
 - ・ 大玉村にはスポーツ少年団があり、指導できる人がたくさんいるということをお聞きした。子ど

もたちは現在の環境の中で全力で活動している。今まで経験したことがない種目であっても、勉強して指導に当たっている教職員、そして地域で一生懸命応援したり指導に携わってくれる方々に参加していただいて、子どもたちが喜ぶ機会をたくさん見られるようにしていく。そんなことが実現できるよう人材の確保を図っていく必要がある。

○ 情報の共有

スポーツ少年団と中学校の部活動が連携して、子どもたちがどんな長所をもっていて、どんなことをクリアしていけばもっとももっと上手になるのかを知っておくことは大事なことである。情報の共有が必要である。

○ スポーツクラブのあり方をどんなふうに紹介するのか

- ・ 子どもたちが興味を持って参加してくれるような「紹介やPRの仕方」を工夫する必要がある。
- ・ 福島県教委では、以前から震災以降子どもの運動機会が減って体力が低下したことを様々なデータを根拠として示している。小学校のうちから、興味を持っていろいろな種目に取り組んでほしい。

○ 負担の軽減

保護者にはいろいろとお世話になっているが、スポーツをする上では費用、移動の手段、保険等様々な負担がある。それらを軽減する手立てが必要である。

○ その他

種目によっては所属人数が非常に少ないものもある。少ないからといって継続できないということがあったとすれば、その子どもたちができなくなるわけで望ましくない。南達でチームを組むとかどういう形にするのか等十分検討しながら継続できるようにする。文化部も含め、子どもたちが活躍する場を維持してほしい。



6 講 評

(おおたま学園CS委員会会長)

みなさんお疲れさまでした。楽しい時間はすぐに過ぎてしまいます。最初のあいさつで言わせていただきましたが、今日も充実した話し合いができたのではないかと思います。

また、これまで中学生と熟議する機会等なかなかなかったのですが、本当に楽しくお話しさせていただきました。私たち地域住民も日頃中学生と顔を合わせる機会もあります。とてもいい経験になったと思います。ありがとうございました。

7 御礼のことは

(大玉中学校長)

長時間に渡る熟議、また、授業から参観いただきましたCS委員の皆さん、大変お世話になりました。

今回子どもたちがこの会に参加できたということは、とても意義のあることだと思います。昨今、少子化で親戚の数も減っています。昔は親戚にうるさいおじさん、お婆さんがいたり、地域にも近所におじさん、お婆さんがたくさんいていろんな大人との関わりがあったそんな時代でした。最近はそのようなこともなくなってきています。ですので、今日いろいろな大人とこういう場で話ができただけが、子どもたちにとって意義のあることだったと思います。こういう時間を与えていただいてありがとうございました。私から御礼を言うところではありますが、子どもたちの感想を聞きたいなと思います。

- 今日中学生の立場としてC S委員会に参加させていただいて、それぞれの立場から思っていることや考えているを聞けて、これからの学校生活につながるようなこともたくさん分かりました。今日参加したのは生徒会の9名だけなので、学校、学級に持ち帰って還元していきたいと思います。

(生徒会会長)

- 今日は大人の会議に参加することになって正直不安だったのですが、自分の経験とか様々な視点を通して話し合えました。そして、大玉村の人たちが私たちのことを思ってくれているんだと改めて分かりました。今回の話し合いで私たちができることとかやれることとかが見つかったので、これからみんなで頑張っていきたいと思います。

(生徒会副会長)

- 今日参加させていただいて、最初は不安で緊張していたのですが、いろいろなところに視点を向けることができ、とても新鮮で有意義な時間を過ごすことができました。様々なテーマについて改めて考えるよい機会になったので、これからの学校生活に生かしていきたいと思います。

(生徒会副会長)

C S委員の皆さま、今日は遅い時間まで本当にありがとうございました。本日の熟議の内容を今後の学校運営に生かしてまいります。ありがとうございました。

8 諸連絡

(大玉中教頭)

- ・ 本日のアンケートの記入・提出について … 記入後机の上に上げておいていただきたい。

9 閉会のことば

(おおたま学園C S委員会副会長 館下 愛理)

皆さんお疲れさまでした。これで、令和4年度大玉村立大玉中学校学校運営協議会並びに第6回おおたま学園C S委員会を終わりたいと思います。ありがとうございました。

